



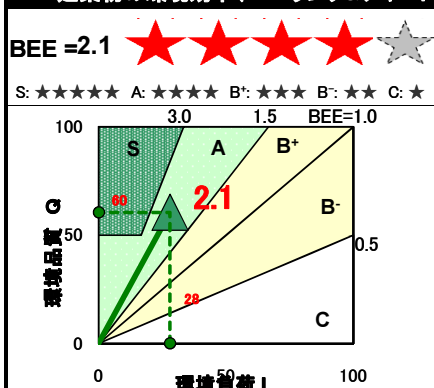
新築[簡易版]

評価結果

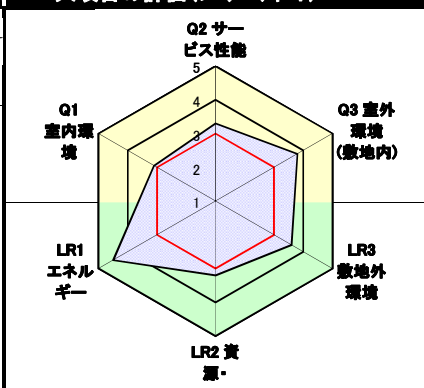
■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)光華女子学園70周年記念棟	階数	地上5F、地下1階		
建設地	京都府京都市	構造	S造		
用途地域	第一種住居、近隣商業、第二種住居	平均居住人員	1,327 人		
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	2,340 時間/年		
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2011年12月 予定	評価の実施日	2010年1月25日		
敷地面積	22,180 m ²	作成者	安井建築設計事務所 南野		
建築面積	1,207 m ²	確認日	2010年1月25日		
延床面積	6,450 m ²	確認者			

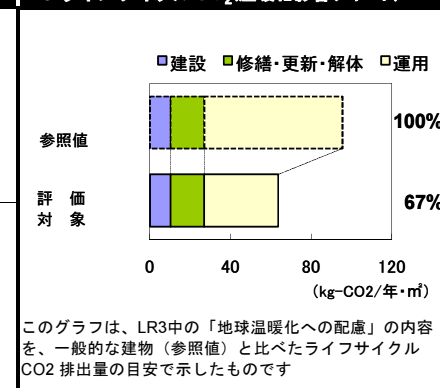
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



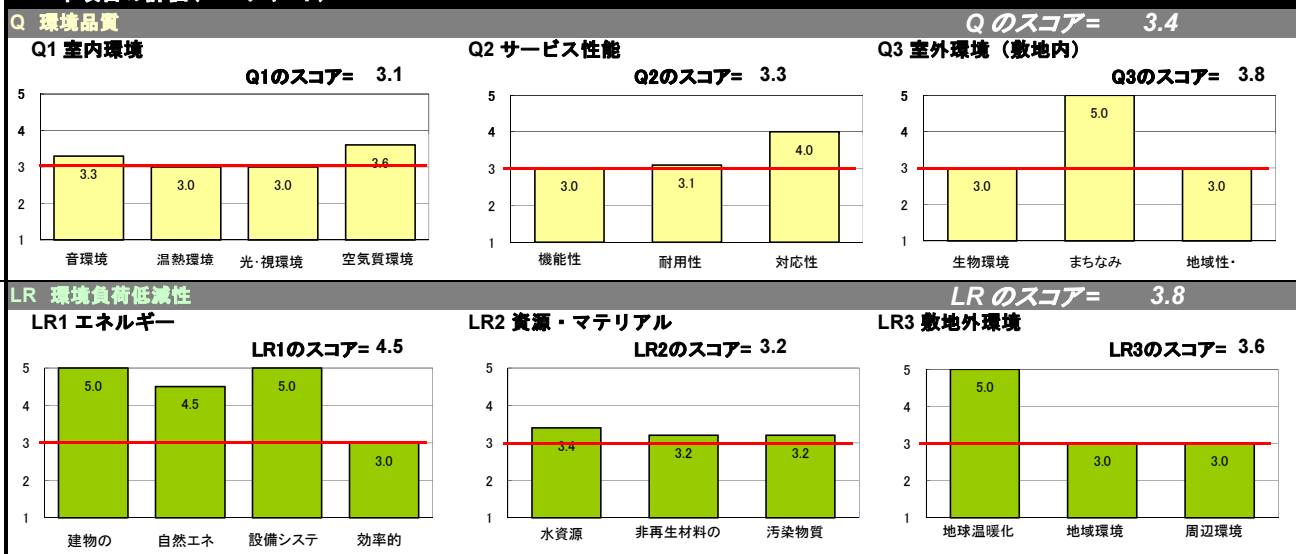
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。		注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
京都光華女子大学の創立70周年記念事業であり、京都に位置する女子大として景観に配慮する。また、「光華」という校名にもある光をテーマとし、自然光の取り入れや照明について環境面から提案する。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
国道沿いであるため、騒音対策として、開口部は遮音性	快適な空間の創出とともに、設備における更新や多様化	既存の樹木を残す配置計画とともに、敷地内の緑
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
自然光を取り入れたり階段を利用した自然換気を採用するなど、自然エネルギーを積極的に利用する。高効率照	汚染物質を含んだ材料を極力使用しない計画とする。	ライフサイクルCO ₂ 率を低く抑え、地球温暖化へ配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される